

大会開催にあたって

今年度の研究大会は、東京大学に会場をお借りして開催します。合計27名の研究者が個人研究発表を行いますので、ぜひとも議論にご参加下さい。シンポジウムは、「Phenomenology of Skilled Performance」と題して、海外からの5名のゲストと日本側のコメンテーター4名によって行います。提題者は、Shaun Gallagher、Dan Hutto、Jesús Ilundáin-Agurruza、Michael D. Kirchhoff、Katsunori Miyahara の各氏で、現象学研究の最前線にいる方たちです。特別講演は、北欧現象学会の Gustav Strandberg 氏にお話し頂きます。二日目の午後には、「他者の感情」をテーマにした公募ワークショップと、男女共同参画・若手研究者支援ワークショップが開催されます。いずれも大変充実したプログラムとなっています。多くの会員諸氏のご参加をお待ちしております。ご関心をお持ちの非会員の方々にも、ぜひ情報提供をお願い致します。

企画実行委員長

プログラム

11月17日(土)

09:15-12:30 個人研究発表(法文1号館)

(発表30分・質疑応答15分)

第1会場(215教室) 司会: 谷委員・三村委員

10:05 小松伸二(立正大学)

知覚経験は概念的内容をもつのか

10:55 増田隼人(東洋大学)

フッサール現象学における習慣性と自由な態度決定の関係について

11:45 八重樫徹(広島工業大学)

演出された心情と徳

—プフェンダー『心情の心理学』を手がかりに—

第2会場(219教室) 司会: 井上委員・氣多委員

10:05 菊地了(上智大学)

ディートリッヒ・フォン・ヒルデブラントの愛の現象学—その可能性を探る—

10:55 加藤浩士(名古屋大学)

自然を乗り越えるとはいかなる事態か

11:45 安田悠介(東北大学)

世界の偶然性

第3会場(315教室) 司会: 加國・和田委員

09:15 大江倫子(首都大学東京)

初期デリダにおけるハイデガーの遺産相続—『グラマトロジーについて』の超越論的真理—

10:05 鈴木康則(慶應義塾大学)

デリダの反-現象学的立場について

10:55 井上瞳(大阪大学)

レヴィナスにおける視点の問題

11:45 小林徹(龍谷大学)

メルロ=ポンティとナチュラリズム

—文化人類学的視点から—

第4会場(319教室) 司会: 石原・村上委員

10:05 横田仁(首都大学東京)

歴史と真理

10:55 砂子岳彦(常葉大学)

物理学的現象学による存在の明確化—存在論と量子力学の照応—

11:45 吉田章宏(東京大学)

現象学研究に寄せる問い、期待と希望念—教育心理学者の世界間移行と彷徨から—

12:30-13:50 昼休み・第1回委員会(法文2号館哲学研究室)

14:00-18:00 【シンポジウム】(法文2号館一番大教室)

"Phenomenology of Skilled Performance"

発表者: Shaun Gallagher 氏 (University of Memphis)

Dan Hutto 氏 (University of Wollongong),

Jesús Ilundáin-Agurruza 氏 (Linfield College)

Michael D. Kirchhoff 氏 (University of Wollongong)

Katsunori Miyahara 氏

(University of Wollongong/University of Tokyo)

コメンテーター: Yuko Ishihara (Institute for Advanced Study)

Masumi Nagasaka

(Gunma Prefectural Women's University)

Haruka Okui (Doshisha University)

Asuka Suehisa (Seijo University)

モデレーター: Tetsuya Kono (Rikkyo University)

18:30-20:30 懇親会

会場: メトロ食堂

会費: 学生・院生(PDを含む): 3,000円

常勤職: 4,000円

11月18日(日)

09:15-12:30 個人研究発表(法文1号館)

(発表30分・質疑応答15分)

第1会場(215教室) 司会: 斎藤委員・田口委員

09:15 関口貴太(法政大学)

フッサールにおける「実在的なもの」の役割について—T・ネノンによる「生活世界」の解釈を手掛かりに—

10:05 佐藤大介(岡山大学)

事物はどのようにして現実的なものとして明証的に定立されるのか—フッサール現象学における「動機づけ」についての再検討—

10:55 山口弘多郎(大阪大学)

方位付けにおける「大地」概念の可能性

11:45 村田憲郎(東海大学)

1905年の時間論はどのような意味で現象学的還元を先取りしているのか

第2会場(219教室) 司会: 井上・陶久委員

10:05 大澤真生(東京大学)

語りと責任

—カール・レーヴィットの共同相互存在論—

10:55 鈴木優花(慶應義塾大学)

『存在と時間』における気分と「色」

11:45 田鍋良臣(大谷大学)

ハイデッガーの人類論

第3会場(315教室) 司会: 河野・小手川委員

09:15 古怒田望人(大阪大学)

エマニュエル・レヴィナス現象学におけるセクシュアルな自己形成記述の解明

10:05 田中雄祐(岡山大学)

メルロ=ポンティの政治理論と制度化

10:55 岡本かおり(大阪大学)

認知症高齢者とのコミュニケーションに関する現象学的分析

11:45 三笠雅也 (京都大学)

境界例の現象学的考察

—木村敏の「境界例」論文を検討する—

第4会場 (319教室) 司会：浜渦・榊原委員

09:15 小関健太郎 (慶應義塾大学)

マイノリティと初期フッサールにおける抽象的对象と性質
の関係について

10:05 金正旭 (GHS 株式会社)

認識論的主観と超越論的観念論

—バーデン学派と現象学派の関係を再考する—

10:55 信木晴雄 (旭川大学)

フッサールにおける論理学の主観的基礎づけ

—『形式論理学と超越論的論理学』における経験概念の拡張—

11:45 吉田聡 (千葉工業大学)

超越論的主観の「誕生」と「死」に関する現象学的考察

12:30-13:45 昼休み・第2回委員会 (法文2号館哲学研究室)

13:45-14:15 総会 (法文2号館一番大教室)

14:25-15:20 **【特別講演】(法文2号館一番大教室)**

"From Phenomenology to Politics

: The Political Thought of Jan Patočka"

Gustav Strandberg 氏 (Södertörn University)

15:20-17:50 **【公募ワークショップ】(一番大教室)**

他者の感情はみえるのか？

—現象学と分析哲学の源泉から問い直す—

オーガナイザー(提題)：國領佳樹 (立教大学)

提題者：源河亨(日本学術振興会 PD)

山田圭一 (千葉大学)

横山陸 (日本学術振興会 RPD)

特定質問者：村山達也 (東北大学)

15:20-17:50 **【男女共同・若手研究者支援ワークショップ】**

(二番大教室)

家族におけるケアと依存

オーガナイザー：稲原美苗 (神戸大学)

提題者：中澤瞳 (日本大学)

川崎唯史 (国立循環器病研究センター)

小西真理子 (大阪大学)

【会員休憩室】法文1号館113室

お知らせとお願い

1 **会費納入** 学会費 (年間 3,000 円) を同封の振込用紙にてご納入下さい。大会会場でも受け付けます。

2 **出欠の連絡** 研究大会および懇親会への参加の有無を、ホームページ上のグーグルフォームからご連絡ください。10月31日までにご連絡いただけると幸いです。

<https://goo.gl/forms/2iYohAcGaNKct3Rt2> からアクセスできます。

3 2017年度決算報告 (2017.4.1~2018.3.31)

【歳入】

【歳出】

歳入項目	決算額	歳出項目	決算額
前年度繰越金	¥2,835,025	『年報』出版費	¥585,684
納入学会費	¥1,484,000	『年報』編集費	¥0
『年報』売上	¥40,000	『年報』送料	¥44,342
普通預金利息	¥7	通信費	¥55,008
計①	¥4,359,032	企画・実行費	¥0
【次年度繰越金】	¥3,075,916	事務局経費	¥119,082
		研究大会開催費	¥150,000
		研究大会講師謝礼	¥25,000
		国際学会年会費	¥0
		事務謝礼	¥304,000
		会員名簿作成費	¥0
		事務局移転費	¥0
		特別経費	¥0
		計②	¥1,283,116

第40回

研究大会

日時：2018年11月17日(土)・18日(日)

会場：東京大学(本郷キャンパス)

入場料：500円(会員・非会員の区別なし)

日本現象学会

事務局：

〒565-0871

大阪府吹田市山田丘1番2号

大阪大学人間科学研究科基礎人間科学講座現代思想研究室

Tel. 06-6879-8075

Email: paj-office@pa-j.jp

郵便振替 00980-9-109153

HP: <http://pa-j.jp/>